



自分たちの手でまちづくり、それが「コミ協」です

小学校区を基本とし、自治会を中心に、PTA、青少年育成協議会、民生・児童委員協議会など地域の様々な団体で構成されています。

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 025-385-2111



今年度は新型コロナウイルスにより様々な活動が制限された1年でした。臨時休校等で登校できなかった子供達に代わり活動してくれた先生方やボランティアの皆様のおかげで、今年度もコサージュを作り無事に卒業式を迎えられました。

ご尽力いただいた皆様、ほんとうにありがとうございました。

自粛期間中、コサージュづくりを支えてくれた先生・地域のみなさま
ありがとうございます



令和2年度 横越小学校卒業生(6年1組)
庭山 理緒奈

私 は親子コサージュ作りで楽しかった事は花染めです。理由はチューリップの花で、どんどん染まっていくのが面白かったからです。

そ して難しかったところは、布をぬっていき所や、花の芯の所が抜けないように巻いてぬっていく所です。

そして特に楽しかった事は、私の母と一緒に作った事です。私は不器用なので、家でも物を作るとき材料を飛ばしたり、くっつける場所がずれたり、形がガタガタになったり、ボサボサになったりするから大変だけど、母とすると上手く出来て楽しいです。だから今回のコサージュ作りもけっこう失敗したりグチャグチャになったけど、とてもうまく作れて楽しかったです。

そ 回チャレンジしてみましたが、失敗して、とてもあせりました。けれど、母がもう一回糸をかけて縫い直したりしてくれたので、きれいに縫う事が出来たので嬉しかったです。他にもボンドでしっかりとめたり、安全ピンを付けるのも難しかったです。しっかり安定させてズレないように付けるのは緊張して手がふるえました。けれど、ちゃんときれいに付けてとても安心しました。コサージュを作り上げるのは難しかったけどとても楽しかったです。

令和2年度 横越小学校6年生担任
嶋田 美和子

今 年度、6年生を担当し、子どもたちと「チューリップのコサージュ作り」を行いました。

今年、4月の後半に休校になってしまい、子どもたちはチューリップの「花摘み」には行けませんでした。担任一同、どうなることかと心配しました。時期を逃すわけにはいかないため、花を摘んで漬け込む作業は、職員が心を込めて行いました。その後の「かくはん」作業や、「布こし」作業は、分散登校の時期と重なったため、学年の半分ずつの子どもたちがそれぞれの作業に参加しました。

6 月には、ようやく、全校が登校することができ、「布染め」の作業を行いました。12月には、親子でコサージュ作りをすることができました。地域のボランティアの方々が、事前の打ち合わせから当日の指導まで、本当に熱心に取り組んでくださいました。心から感謝申し上げます。

お かげで、とてもすてきなコサージュができました。子どもたちは、このコサージュを胸に付け、横越小学校を卒業します。

活動報告

令和2年度



がんばったコサージュ作り

令和2年度横越小学校
卒業生(6年1組)

今井 秀利



コサージュを作る時、一番難しかったところは、まち針をさして糸でぬうところだと思います。とくに、同じ間かくで波ぬいをしていくのが難しかったです。

そして、一番面倒だったところは、花の真ん中の軸を出しながら布を巻いていくことです。きれいな形になるようにバランスをとるのがとても面倒でした。

お母さんと一緒に作ったので、教えてもらいながら出来て楽でした。

作り終わった時は、「やっと終わった！」という開放感がわきました。

卒業式では、目立つように付けたいです。

世代を超えて続く伝統

令和2年度卒業生保護者 今井 麻奈美

息子が小学六年生となり、いよいよ卒業を迎える日が近づいてきました。

いつの間にか私を超えた身長、少しずつ低くなる声、反抗的な態度……

いわゆる思春期の入口に立っている息子の



隣に座りながら、一緒にコサージュを作る作業は、とても愛おしい時間でもありました。

うまく出来なくてイライラするのをなだめたり、口を出しすぎて嫌がられたり、ぶつきらぼうながらも手伝ってくれたり、楽しい親子共同作業でした。

父親も横越小学校出身で、このコサージュ作りはその頃から続く伝統だそうです。世代を超えて続く伝統を大切に守ってくださっている先生方をはじめ、ボランティアの皆様への感謝をお伝えするとともに、この素敵な取り組みがこの先も続くことを願っています。

親子で卒業式の コサージュを作って

令和2年度卒業生保護者 庭山 智恵子

この度、一人娘の小学校卒業を迎えるにあたって横越小学校は卒業式で親子でコサージュを作りそれを卒業式で付けるという事を初めて知りました。今年で二九年続く伝統活動という事と、それを支えるボランティアの皆様のお陰という事も同時に知りました。

5年生の頃からボランティアの皆さんとコサージュ作りのためのチューリップの球根植えをし、花びらを摘み、花びらを漬け込み、コサージュ用の布を草木染めをし、それを使って親子で一緒にコサージュを作る

というのは、娘は学校での出来事などをあまり話すタイプではないのも有り学校のお便りで知りました。

ちょうど少し反抗期に入った時期、一緒に何かをする事も少なくなり、コサージュを作りながら、幼かった頃の事を少し思い出しながら成長した娘を感じました。一緒に作るなかで「私と似ているんだな」と思うことや、同じ頃の私自身が当時の母親に対しての行動や態度が今の私と娘のようで、懐かしい思いなども感じる事ができたコサージュ作りでした。

卒業式には中学生の制服を着て、胸には一緒に作ったコサージュを付ける。とても思い出深い卒業式になると感じます。

コロナ禍という事もあり参観日も中止が続く中、無事にこのような素敵な伝統活動の体験ができたことに感謝しております。





チューリップきゅうこんつえ

横越小学校5年組 山本 風璃

ぼくはチューリップのきゅうこんをつえました。そぎょうしきのときに、せいふくにつけるためにうえました。

みんなでバスにのって行きました。最初はむずかしかったけど、最後は上手にできうれしかったです。

いっしょに作ってくれるボランティアのみなさん、先生がた、ありがとうございます。いっしょうけんめい作ってそれをつけてそぎょう式にでたいと思います。



地下道清掃に参加して

横越中学校1年生担任 熊谷 友良

今年度は新型コロナウイルスの影響で様々な教育活動が制約の中で行われていきます。それにより生徒だけでなく私達教職員も保護者や地域の方々に関わる機会が減っています。

地下道清掃では地域の方々保護者の方横越小学校の先生方と活動を共にしました。

天井や窓の汚れを落としたり、階段の隅にたまった埃を集めたり、声を掛け合いながら協力して活動することで初めて顔を合やすメンバーだったにも関わらず、つながりが芽生えた気がします。2時間程度の短い時間での活動でしたが、活動を終えた時はすがすがしい気持ちになりました。

地域が主体となって「よりよい街づくり」に向けて取り組む活動の大切さを改めて感じました。ありがとうございます。



街灯清掃に参加して

横越ライオンズクラブ (横越小学校PTA会長) 宇野 耕哉



去る十月三日、横越コミュニティ協議会と横越地区公民館共催のピカピカ大作戦に各種団体のボランティアの皆さんと一緒に横越ライオンズクラブとして参加をさせていただきました。

私達は街灯の清掃を行いました。クモの巣やコケがびっしりで、かつ足場も悪く、かなりハードな作業となりました。しかし、苦労した分だけ達成感を味わうことができた自己満足に浸っています。

例年だと小中学校の児童生徒と共にボランティア作業を行うのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大人だけという淋しい活動でした。来年度は子ども達とも地域交流ができることを祈念しています。

一人一人が自分のできることを

老人福祉センター横雲荘職員 尾崎 麻美

“いざという時のために”ということを利用しての皆様に防災に対する意識を深めてもらうと消防署並びに横越コミュニティ協議会防災士部会の皆様にご協力頂き防災訓練を開催いたしました。

約20名が参加し、心肺蘇生練習用人形を用いたAEDや胸骨圧迫の体験、またハザードマップを利用した避難方法を指導して頂きました。参加者の皆様が積極的に実践の様子から意識の高さを感じ取る事が出来ました。

横雲荘ではこれからも防災士の皆様と連携し一人一人が自分のできることをを目標に防災訓練を開催して参ります。皆様のご参加をお待ちしています。



大江山・横越圏域 支え合いのしくみづくり

～地域と共につくる地域づくり～

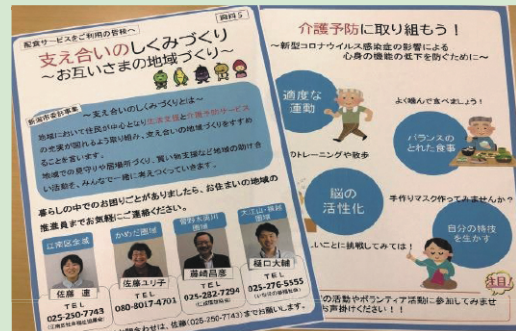
新潟市では、地域において支え合いのしくみづくりの取り組みを進めています。これは、地域の団体(横越コミュニティ協議会や自治会・民生児童委員・老人クラブ・行政・福祉関係者等)と協力し、65歳以上の方がいつまでも安心して地域で暮らし続けることができることを目的にはじまりました。現在、横越では各地域で様々な取り組みを行っています。

～支え合いのしくみづくり啓発活動～



横越中学校の1学年を対象とし、地域の助け合い活動の寸劇DVDを通して支え合いのしくみづくりの説明を行いました。生徒達が地域に暮らす中で、どのようなことを手伝えるか、一緒に考えました。

江南区内に宅配している2事業所の配食サービス事業所から協力を得て、支え合いのしくみづくりのチラシをお弁当配達時に利用者へ配布しました。



小杉地区の老人クラブ(小杉九十九会)の研修会にて、支え合いのしくみづくりの説明を行いました。参加者の中には、除雪やゴミ捨てでお困りの方もいました。

支え合いを大事に

大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり会議推進委員
特定非営利活動法人えんではば えんではばこし代表 山本美幸

令和2年8月31日に横越中学校1年生に、新潟市で取り組んでいる「支え合いのしくみづくり」についてお話をさせていただきました。1年生といえば私も経験ありますが大人とも子供とも言えない複雑な気持ちがあります。「お互い様」が大切。誰がどんなことで困っているか。昔はそんなこと思わなくても顔の見える町内でした。今は個人情報などでなかなか難しいです。そんな中でも子供の時から地域の活動に参加して、例えば「隣のおばあちゃんは一人生らなんだ。時々声を掛けてみよう」という気持ちが大切だと思ってくれ



ればうれしいです。「これからの地域を支えていくのは君たちよ!」ということが少しでも伝われば良いと思います。

私たち大人も便利になり過ぎた社会で最も大切な「人と人の繋がり、声掛け、集って問題解決」を今一度心掛けたいです。この文章を読んでいただいた方、少しでもご協力をお願いします。

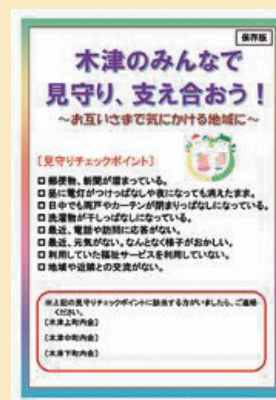
～サロン東町～

今年度より横越東町で地域の茶の間“サロン東町”がオープンしました！地域のボランティアや自治会、民生委員の方が協力して立上げ、毎回多くの方が集まっています。開催日は、東町のゴミステーションに掲載しています。どなたでもご参加ください！



～木津地域の見守り活動～

木津自治会と協力し、自治会内の皆さんがお互いに気に掛け合えるような地域づくりを進めています。見守りのチェックポイントを記載したシートを木津自治会の全世帯に配布しました。シートには、自治会役員名を記載し、必要時に相談体制が取れるよう連携しています。

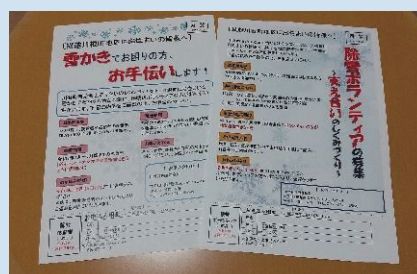


～地域の福祉施設が講師として訪問～



木津地域の茶の間に、介護老人保健施設マチュアハウス横越のリハビリ職員を招き、自宅でも出来る体操を教えてくださいました。

～除雪ボランティア～



横越川根町自治会と除雪ボランティア活動を実施しました。自治回覧で除雪希望者と地域のボランティアを募集し、除雪活動を行いました。

支え合いのしくみづくりでは、今後も横越コミュニティ協議会等の地域の団体の皆さんや地域にお住まいの方々と協力し、“地域づくり”を進めていきます。

皆さんも地域の活動やボランティア活動に参加してみませんか？ぜひ、お声掛けください。

お問い合わせ

大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり会議

〔事務局〕社会福祉法人いなほの郷福祉会

TEL：025-278-5515 FAX：025-276-0018

推進員 樋口 大輔

応急手当講習と防災学習

防災士
横越コミュニティ協議会副会長 小野塚智恵子

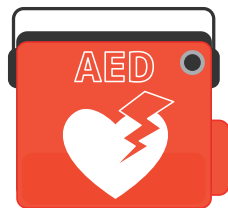
令和2年11月10日(火)に横雲荘にて行われた防災イベントのお手伝いをさせて頂きました。応急手当講習については「冬に起こりやすい事故や病気のテーマから、ヒートショック(※)や誤飲による窒息の対処法を一緒に勉強しました。

さっそくAEDの操作と人形を使つての胸骨圧迫心肺蘇生法を体験。参加者の多くはAEDを見るのも触るのも初めて。もちろん人形を使つての訓練も。ドキドキの体験でしたが、皆さん積極的に参加していただきました。お互いに「おめさんじょうずらねっかね」「ほら次やつてみてれば」と声をかけながら真剣な中にも楽しい雰囲気

気で体験していました。

横越の身近な災害の一つに水害があります。水害が起こる前、起こった時に「命を守る行動」をとるタイミングについて防災士の本間さんから話をさせていただきました。また横越、川根町など何か所かでの洪水冠水時の最深水深値を言葉(数値)だけでなく目で見てわかるグッズを用いて説明させて頂きました。短い時間ではありましたが、多くの方に楽しく、少しでも防災が身近に感じられる機会になったのではないかと思います。

※ヒートショック：居間からトイレ、浴室などへ移動した際の気温(室温)の変化により血圧が上下し、心臓や血管に疾患が起ること。



令和2年度 安心安全委託事業

今年度は停電時や災害時における初動活動を迅速に動けるようにと、ガスボンベ式発電機とハロゲンライトを配備しました。これまでに配備してきたガソリン式発電機と共に、自治会、町内会や学校行事等での防災訓練等にお使いください。また、児童生徒の通学路などの見守りを強化するため、横越小・中学校区交通安全推進協議会様へ名入りベストとキャップを委託させていただきました。コミ協としても見守り活動に協力していきます。



名入りベストとキャップ



ガスボンベ式発電機1台



ハロゲンライト6台



ガソリン発電機15台

■問い合わせ先■

TEL090-3089-0177

横越コミ協事務局 山本

※よごしコミ協だよりをご要望の方は、横越コミュニティ協議会事務所まで取りに来てください。

やんばー! コロナ禍

横越コミュニティ協議会 会長 佐藤 正明

日頃より皆様におかれましては、当コミ協の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。年末からの大雪交通渋滞が続く、学校の休校など雪との戦いの年始めでありました。

コロナ禍の令和2年度は計画された事業は何もできなかった年でしたが、数年続いている横雲通りの地下道清掃や、街灯清掃を多くの皆様のご協力で実施いたしました「ピカピカ大作戦」は今後も続けたいと思います。市から管理委託されている老人福祉センター横雲荘も3・4・5月は休館となり、利用者の皆様には不便をおかけいたしました。

昨今、各地に多くの自然災害が発生しております。コミ協では、発電機などの資機材等を少しづつではありますが台数を増やし、防災研修会などを進めてまいります。

オリンピックの開催が問われている今日、北帰行する大鳥が大陸にコロナを返送してほしいと願っております。

福寿草の花も咲き、桜前線の北上も始まりましたので、春の気配を探してみたいと思います。今年度も地域課題やコミュニティの振興に向けて進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。



「令和2年08月27日
手づくり郷土賞授賞式について」